

組合だより

ながの

Vol.46

令和5年(2023)11月1日発行



SDGs
REGISTERED PARTNER
NAGANO PREFECTURAL
GOVERNMENT

JForest
長野森林組合

〒380-0915 長野市大字稲葉字上千田沖134番地 2
TEL 026-217-8822(代表) FAX 026-219-2930
E-mail : nagano-sinkumi@an.wakwak.com
URL : <https://naganoforest.org/>



2022年4月に「長野県SDGs推進企業」として登録されました。



「森林(もり)の里親契約」調印式(関連記事 P6)

左から ジョイカル“ECOTO”アンバサダー 内村航平様、北アルプス森林組合 割田組合長
ジョイカルジャパン代表取締役社長CEO 早川由紀夫様、長野森林組合 和田組合長
長野県林務部 須藤部長

●主な内容

長野県植樹祭 令和5年度長野地域森林祭(小川村)開催/長野県林業職員協会県大会……2

令和5年度国有林ゴミゼロ運動/社会貢献ボランティア/理事会開催……3

各支所・事業所特集:第10回長野セブンの森 森林整備活動について【北部支所】/下刈省力化に向けた自走式草刈機の現地検討会を開催しました【北部支所】/緑と花のフェスティバル in 長野【長野支所】/信州大学教育学部附属長野小学校木育授業/無人航空機(ドローン)飛行の講習会への参加……4~5

シリーズ「皆伐(更新伐)再造林のすすめ」⑥/SBCラジオ ろくちゃんの森の学校開催/木育教室に参加しました/木材市況……6~7

賦課金の徴収についてのごお願い/森林組合からのお知らせ/新人職員の紹介/人事異動/編集後記……8

長野県植樹祭 令和5年度長野地域森林祭 (小川村) 開催

晴天に恵まれた中、令和5年度長野地域森林祭が5月27日(土)、小川村「星と緑のロマン館」にて行われました。みどりの少年団による力強い宣言からはじまり、活気のある素晴らしい森林祭となりました。当組合も和田組合長はじめ10名が参加しました。県道36号線(小川アルプスライン)沿いに、シヤクナゲ、イロハモミジを植樹いたしましたので、最寄りにお出かけの際は是非ご覧いただければと思います。



植樹の説明



作業の様子



みどりの少年団による作業

長野県林業職員協会県大会

9月28日(木)、29日(金)に長野県林業職員協会県大会が、「Nagano forest village 森の駅 Dazahoushi」、「アンビーバナガノパーク」(長野市上ヶ屋)を会場に、長野県内7森林組合、4市町村が参加し開催されました。

一日目の林業技術競技では普段私たちが測定に使う器具等は一切使わず自分自身の感覚を頼りに競技を進め、普段とは違う視点で森林を視るとも良い機会になりました。立木の高さを測定する競技と立木の胸高直径を測定する競技で当組合若手職員2名が優秀賞を受賞、仲間の受賞を大変喜ばしく思いました。

二日目は「Jクレジット制度」の研修会が行われました。Jクレジット制度とは適切な森林整備や省エネルギー設備の導入などの取り組みによる、CO2等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する制度です。我々森林組合は適正な森林整備により温室効果ガスの排出削減につながる事業を行うことでクレジットの発行ができます。昨今では温室効果ガスの排出量軽減、吸収量増加が地球温暖化対策として重要視されています。森林整備を適切に進めていくことで温室効果ガスの吸収量を増やすことができます。このJクレジット制度を活用し環境保全、地球温暖化対策に森林組合として貢献していくことが重要だと感じました。

今回は二日間という長いようで短い時間での大会でしたが中身の濃い二日間となりました。今後は、学んだことを業務に活用していきたいと強く思いました。



競技中の様子



Jクレジット制度の研修会



令和5年度国有林ゴミゼロ運動

5月30日(火)に開催した、北信森林管理署「530(ゴミゼロ)運動」に和田組合長他5名で参加をし、戸隠森林植物園周辺のごみ拾いや外来植物の駆除を行いました。来園者の自然環境への関心が高まっているからか、年々ゴミの量が減少し喜ばしい限りですが、その一方で西洋タンポポ等の外来植物が増加傾向にあり危機感を覚えます。

本来の自然の姿を子供たちに残せるように、このような地道な活動を続けていきたいと思えます。



作業の様子



荷台にいっぱいのゴミ袋



社会貢献ボランティア

当組合で毎年行っております『社会貢献ボランティア』を6月17日(土)と6月24日(土)の二日間、寺澤専務はじめ一般職員が2班に分かれて作業を実施しました。17日は長野市篠ノ井塩崎の林道西入線で枝払いや路面清掃、6月24日は信濃町セブンの森で草刈りを行いました。

当組合としては、なかなか人の手の行き届かない場所の整備を今後も続けていきたいと思えます。

理事会開催

第2回理事会

開催日 令和5年7月13日(休)

《議事》

第1号議案 第1四半期の事業報告及び6月末の事業進捗状況について

第2号議案 固定資産の処分について

第3号議案 令和5年度スマート林業実践支援事業の導入について

第4号議案 職員等の夏季賞与の支給について

《報告事項》

第1号 専門委員会等からの報告について

①総務専門委員会の報告

②森林づくり推進専門委員会の報告

③コンプライアンス委員会の報告

第2号 労働安全衛生について

第3号 長野支所、西山支所、鬼無里事業所の業務連携体制の構築について

第4号 長野市上ヶ屋R4団地作業路の補償について

第5号 株式会社 鬼無里の社との債権債務の処理について

第6号 「コンプライアンス態勢構築のためのガイドライン」に関する自己点検チェックリストによる自己点検実施について

第7号 長野県議会農政林務委員会への陳情書の提出について

第8号 役員視察研修の報告について

第9号 その他

第3回理事会

開催日 令和5年10月20日(金)

《議事》

第1号議案 第2四半期の事業報告及び9月末の事業進捗状況報告と年度末見込みについて

第2号議案 賦課金の徴収について

第3号議案 固定資産の処分について

第4号議案

800V(DL)の処分(更地支所)の処分について

①嘱託・臨時職員給与規程の一部改正

②森林作業用機械・器具購入補助金交付内規の一部改正

第5号議案 役員賠償責任保険の加入について

第6号議案 令和5年度 スマート林業実践支援事業変更計画について

第7号議案 特別委員会(木材加工事業関係)の委員の変更に

ついて

《報告事項》

第1号 上半期監査の報告について

第2号 各専門委員会からの報告について

①総務専門委員会の報告

②森林づくり推進専門委員会の報告

役員安全パトロールの報告について

第4号 労働安全衛生について

第5号 長野県議会農政林務委員会に対する陳情について

第6号 実践的能力理事の配置について

第7号 長野市上ヶ屋R4団地作業路の補償について

第8号 長野市からの人材育成助成金の返還について

第9号 木質ペレット燃料の倉庫について

第10号 職員等の夏季賞与の支給状況について

第11号 組合リース車両の入替について

第12号 令和6年度高性能林業機械導入推進事業(林業・木材産業循環産業成長対策事業)に係る要望調査の回答について

第13号 受託林産事業に伴うインボイス制度の対応について

第14号 スギ花粉採取事業の取り組みについて

第15号 その他

各支所・事業所特集



●第10回長野セブンの森 森林整備活動について

【北部支所】



下刈作業の様子

6月24(土)、信濃町野尻にあるやすらぎの森で第10回長野セブンの森の森林整備活動が実施されました。

この活動はセブンをイレブンの店頭で募金された資金を活用して、(株)セブン&アイ ホールディングス (一財)セブナイレブン記念財団 信濃町 長野森林組合の4者協定に基づき森林の整備活動を実施しており、10年間の協定期間のうち本年度で6年目を迎えました。

当日は、新型コロナウイルスの5類感染症移行後の初の活動となり、近隣のセブナイレブンのオーナー様御家族を中心に、沢山の方々に参加していただきました。さわやかな高原でお天気にも恵まれ、5年前に植樹した苗木を1本ずつ手作業で丁寧の下刈りを行い参加された方々は心身ともに久しぶりにリフレッシュされていた感じました。

また、参加したお子様には感謝状も授与され、森林整備活動の大切さを実感していただきました。

来年度は隣接地を皆伐して新たに植樹を行い今後継続して森林整備活動を実施していく計画です。



感謝状の贈呈



作業内容の説明



●下刈省力化に向けた自走式草刈機の 現地検討会を開催しました

【北部支所】



あいさつする北信森林管理署木村署長(右)と和田組合長(左)

作業者の確保が困難である等様々な課題があります。

これからの解決に向け、2021年にクラッシュャーによる切株と粗朶の無い地拵えを行い、スギ苗を植林した現場において、キャニコム様の協力により傾斜地でも走行できる自走式草刈機による下刈の実証試験を行いました。

検討会には約60名が参加し、検討会の内容は信濃毎日新聞やNHKテレビでも報道されました。

7月25日(火)に、仙寺山国有林において、中部森林管理局北信森林管理署と長野森林組合の共催で、自走式草刈機の現地検討会を行いました。



伐根も破砕できる草刈機



熱心に見学する参加者の方々

下刈作業は、植生が単調で岩盤質な欧州や北欧と比較し、気候が湿润温暖で土壌条件も良く多様な植生が繁茂する日本特有の課題であり、海外の林業先進国にも適切な機械がありません。そのため、下刈用の機械は国内の各林業機械メーカーと我々現場サイドが協力して開発する必要があります。また、下刈作業に機械を導入するには、地拵え、植林の時点で後々機械が走行できる様な施業も必要です。

長野森林組合は北信森林管理署のご協力を得ながら、より安全で効率的な施業を実現すべく研究してまいります。



傾斜に強いラジコン式草刈機



●緑と花のフェスティバル in 長野 【長野支所】

5月28日(日)、長野市城山公園 ふれあい広場で「緑と花のフェスティバル in 長野」が開催されました。名札づくり・コースターづくりの体験は、大勢の親子連れの皆さんに参加して頂きました。白樺の枝を輪切りにして名札用に加工したものに思い思いの絵や文字を個性豊かに描いていました。

また、木材利用の一環としてコースター作りの体験も行いました。キハダの木をコースター用に輪切りにして加工したものは、一つ一つに細かい木目の特



コースター作り

徴があり、子供さんたちは、オリジナルコースターをとっても楽しんで作っていました。名札づくり、コースターづくり共に、子供さんたちの豊かな発想を生かす貴重な場になり身近にある名札というものを通じて木で作られた物の良さを知って頂くいい機会になりました。

しいたけのほだ木造りは、木との親しみが薄れていく中、体験ブースでは、ナラの原木に電動ドリルで穴をあけ、しいたけの種駒を打ち込む植菌作業を行いました。身近に体験できるものではなく、来場者の多くの方々が訪れとても興味深くご覧になって頂きました。私たちが普段口にして頂きたいキノコがどのような状態から育つのかという事を知るとも貴重な機会でした。

その近くでは、当組合の職員によるチェンソーアート作成も行われ



種駒打ちの体験

れました。大きなチェンソーを器用に使用し細かい模様を入れたりして木で出来たフクロウなどを作成しました。このブースは皆さんに足を止めてご覧いただき一番の人ばかりでした。

コースター作りは、木で作られた小さなテントで行われましたが、屋根のような景観で、組み立て式なので持ち運びに便利です。早速注文された来場者の方もいらっしやいました。灯りをもとせばグランピングのような雰囲気を作ることが出来ます。

今回の体験が、森林に対する興味や木の需要が高まるいい機会になったと感じました。



●無人航空機（ドローン）飛行の講習会への参加

9月に5名の職員が、立科町のDアカデミー関東長野校にて、ドローンを飛行させる際の許可・承認申請に必要な講習を受講しました。

講義では、実技によるドローンの基本的な操作方法の実習に加えて、機体の登録申請の手続きや飛行させる際の航空法規についての解説、様々な現場で実際に起こった事故事例の紹介や飛行させる際のリスク管理、そして林業現場などでの活用事例や産官学連携による取組事例についてお話がありました。



●信州大学教育学部附属 長野小学校木育授業

8月4日(金)、信州大学教育学部附属長野小学校5年生の1クラスに対し、木育授業を行いました。



授業風景

前半には、「森林・林業について知ろう」を題材にし、森林の公益的機能や長野県の森林の課題、森

林組合の仕事などについて生徒さんからの質問や疑問を交えながら授業を行い、森林や森林組合についての知識を深めていただきました。



手のこぎり体験



チェンソー体験

後半には、当組合の女性職員による、とっくり結びなどのロープの扱い方やチェンソーと手のこぎりで丸太を伐る体験をしていただきました。準備の段階から興味を持ってもらい、体験者を決める時にはほぼ全員に立候補して頂きました。全員に体験をして頂くことは出来なかったのですが実際に見て、体験してもらうことにより、バッテリーチェンソーとエンジン式チェンソー、手のこぎりの違いを臭いや音、伐る速さで感じてもらうことが出来ました。

今後も木育授業を通して、森林・林業に興味や関心を持ってもらえるような活動を行って行きたいと思えます。



森林資源や地形の調査にドローンにて撮影した映像等のデータを活用し、日々の業務や地権者の皆様へのご説明に役立て、スマート林業を推進して参ります。



ドキドキしながらの操縦

シリーズ

「皆伐(更新伐) 再造林のすすめ」

⑤

企業と進める再造林(その3)

「森林(もり)の里親契約」を締結しました



2023年6月5日(月)の「環境の日」に、新しい車の乗り方を提案する株式会社ジョイカルジャパンと長野県林組合は、長野県の立ち会いにより「森林(もり)の里親契約」を締結しました。契約内容は、ジョイカルジャパンがリースする自動車が出した二酸化炭素(CO2)を、森林整備によって相殺するカーボンオフセットプロジェクト「ECOTO」イコートにより、ジョイカルジャパンが組合の森林整備に必要な資金を提供していただきます。

当日は、ジョイカルジャパン代表取締役社長CEO 早川由紀夫氏とジョイカルCEO 安田浩二氏、サダの元プロ体操選手の内村航平氏も長野県庁を訪れ、環境への思いを

語られました。

締結式において和田組合長は、「現在、森林・林業を取り巻く環境というのは大きな変化をしているところ。その中で、脱炭素社会、2050カーボンニュートラル」といった言葉が出ている通り、そういった社会を目指して森林に関わる全てのベクトルが環境の方へ向いている状況にあると感じています。今回、ジョイカルさんにはタイムリーな取り組みを行っていただけのことにつきまして、心から敬意を表しています。我々森林事業者としてもしっかりと環境に対する責任を果たしていかなければいけないと思っています。」と述べました。

長野森林組合は

環境意識の高い各企業様と連携し、再造林を推進することです。サステナブルな社会づくりに貢献してまいります。



カーボンオフセットプロジェクト「ECOTO」公式サイト <https://joycal.jp/ecoto/>

坂城町植樹祭へ参加しました

去る9月29日(金)、坂城町和乎にて開催された令和5年度坂城町植樹祭に参加いたしました。



今回の植樹祭は、組合だよりVol.45(令和5年6月1日発行)の記事「苗木寄贈呈式を行いました」と繋がっているイベントです。

収穫期を迎えたカラマツの町有林で、当組合にて主伐・再造林の委託を受け、今年の6月から9月初めにかけて作業を行い、植樹祭会場の整備といった面でもお手伝いさせていただきます。

先述のとおり植樹祭の苗木は、日本木造住宅分譲協会からの寄付で賄われ、800本のカラマツ苗木を植樹しました。

当日は晴天に恵まれ、暑くもありましたが、地域の林業関係者や坂城小学校の生徒さんなど120名ほどが参加され、林業の大変さを感じつつも同時に自然の中で作業する清々しさも感じられていました。

このような体験から森林や林業を身近にも、関心をもってもらえればと思います。持続可能な社会を目指し健全な森林を維持するため、今後も「伐つて」「使つて」



「植えて」「育てる」という取り組みを通じて貢献できるよう努めてまいります。

須坂高校 生徒発 気候危機突破プロジェクト

県立須坂高校で実施された、「生徒発 気候危機突破プロジェクト」に当組合も参加をさせていただきました。

このプロジェクトは、生徒自らが主体となり持続可能な脱炭素社会づくりに関する学びを通じて具体的な取り組みを行うものであります。

今回のテーマは「教室の断熱改修」で、実際に視聴覚室の改修工事を生徒の皆さんと一緒にを行うことになりました。

作業に先立ち、森林や林業に関する講義を行い、須坂高校の学有林についてや、長野県内の森林、林業の現状について、森林の有する公益的機能、森林とSDGsなどについてお話ししました。

断熱改修工事では、内窓と断熱材を設置し、壁材の仕上げには、須坂高校学有林から切り出されたカラマツの羽目板を貼っていきましました。

無垢材の羽目板を貼る作業は非常に難しく、生徒の皆さんは寸法を測りながら、一枚一枚丁寧に貼っていました。

建築に興味のある生徒さんは、「木のデザインはカッコよく、将来、木を使った建物の仕事をしたい」と夢を語ってくれました。

寒々しかった教室は木のぬくもりによって温かみのある空間へと生まれ変わりました。

今後も木育活動を通じて、若い世代の皆様に森林の大切さ、木の良さなどを伝えていければと思います。須坂高校の先生、生徒の皆様、ありがとうございました。



SBCラジオ るくちゃんの森の学校開催

6月4日(日)、信越放送ラジオ局主催で『2023年第2回 るくちゃんの森の学校』が、長野市中条の道の駅に隣接したろくちゃん森で盛大に開催されました。毎年春と秋に開催されているもので、森林づくり推進課と西山支所は運営のお手伝いとして参加しました。

今年にはコロナ禍が落ち着いてきたこともあり、コロナ禍前と同規模の約50名の方にご参加いただきました。カリキュラムの1時間目の矢澤秀成先生による森林観察会で、林内を散策しながら新緑の葉の匂いを嗅いだり、ハナイカダやマムシグサなどの不思議な形の花を探したりして楽しい時間になりました。

2時間目は毎回大好評の丸山真一郎先生の木工教室です。今回は15種類の木の實を使用した華やかなコルクボードを作りました。



どんなにおい？



魅惑のシダ

9月9日(土)に長野市七二会公民館の木育教室に参加してまいりました。当日は長野市内の親子15組に参加していただきました。前半は信州木材認証製品センター(長野県木材協同組合連合会) 松本様より、山があることで私たちは豊かな生活をおくれていること、地域の木材を利用し、木を育てることが今とても大切なこととお話しいただきました。木曾からお越しいただいた酒井産業(株)の酒井社長より木のロボット作りと木のおもちゃで遊ぶ体験の講師をしていただき、子供たちは、オリジナルの飾り付けを夢中で行っていました。

木育教室に参加しました

や林に落ちていた身近などんぐりから豪華なバラのようなシダーローズまで、楽しく飾り付けすることができました。子どもたちにより森林を身近に感じてもらえるよう、これからも様々なイベントで魅力発信に努めていきたいと思えます。



完成品



工作スタート

令和5年度 各種研修生名簿

研修名	氏名(支所名)
フォレストワーカー1年目	岡野ころこ(更埴支所)
フォレストワーカー2年目	牧 心太(須高支所)
フォレストワーカー3年目	菅野 樹央(須高支所)
フォレストリーダー	松倉 徹(須高支所)
	堺 悠輔(北部支所)

後半は当組合職員による、チェインソーアートの実演をさせて頂きました。30分間で完成したフクロウに触って頂いたり、「僕もチェインソーをやってみよう」と大変興味を持っていただくことができました。今後も木育教室を通して、木と親しむことで森林への関心を深めていただけるよう、今後活動に参加、計画して参ります。



完成したフクロウ

木材市況

今回の市売りは、広葉樹の良材に札が集中し高値で取引され、広葉樹のシーズンの到来を印象づけるものになりました。スギの合板材の荷動きが徐々に始まりました。次回は、開設65周年記念市です。広葉樹シーズンと併せ良材の伐採を予定される方はご出品をお願いいたします。尚、本格的な需要期を迎える広葉樹は、造材により価格が変動することから、長級にも注意しながら、極力欠点を除く丁寧な造材をお願いいたします。引き続きご出品のご協力をよろしくお願い致します。

第1121回 令和5年10月11日 長野県森林組合連合会 北信木材センター

樹種	長さ(m)	末口(cm)	平均値~高値(円/m ³)	平均石値(円)	備考
スギ	3.0	16~18	12,000 ~ 14,000	3,339	
		20上	12,000 ~ 15,000	3,339	
	4.0	14~20	11,000 ~ 14,000	3,060	
		22~28	12,000 ~ 15,000	3,339	弱気配
		20上	8,000 ~ 10,000	2,226	
		30上	13,000 ~ 18,000	3,617	
カラマツ	4.0	30~40	18,000 ~ 20,000	5,008	
		6~13	10,000 ~ 13,000	2,782	
ナラ	4.0	14~18	11,000 ~ 14,000	3,060	
		20上	18,000 ~ 20,000	5,008	
		42	~ 61,000	16,973	強気配
クリ	4.0	38	~ 42,000	11,686	強気配
		40	~ 55,000	15,304	強気配

(1石: 0.27826m³)

ながのペレット販売中

地域山林の間伐材 100%からできています。燃効率も良く、灰も少ないとご好評をいただいております。

参考販売価格
(径6mm 10kg入/袋)

660円
(税込)

726円
(税込・配達)

配達は30袋以上でお願いします



森林保険への加入をお勧めします

森林についての火災、気象災、噴火災による損害に森林所有者自らが備えられる、唯一のセーフティネットです。
お問い合わせは、お近くの支所までお願いします。

保険金のお支払いの対象となる8つの災害



賦課金の徴収についてのお問い合わせ

総代会の議決並びに理事会において、賦課金額を組合員割2000円、面積割1ha当たり2000円とし、12月15日までの納入とご決定を頂きました。

賦課金は、地域林業が更に活性化するために組合員皆様への情報提供や森林整備推進の森林経営計画樹立説明会などに役立てております。

徴収方法については、各地区の総代・参与委員の皆さまにお願いして、賦課金納入通知書を配布して頂きますので、期日までに納入をお願いいたします。

新人職員の紹介

北部支所 技能職員

中川 卓真



8月1日付で北部支所の頂班に配属となりました、中川卓真と申します。

北信州の森林と多様な生態系に魅了されており、長期的な森林健全性と環境保護に貢献したいと考えています。森林資源の持続可能な管理と地域社会における森林の重要性を理解し、その価値を最大限に引き出すため、努力していきたいと思っております。よろしくお願致します。

森林組合からのお知らせ

次のような事例が該当する組合員の方は、最寄りの支所等にご連絡ください。

- * 組合員本人の方の死亡等により、名義人が実在しない方。また、後継者の方が権利を継承されている方。
- * 引越しや転居等により住所を変更された方。
- * 山林を売却し権利が別の名義人に移っている方。
- * 山林を売却したり購入して所有面積が変更になっている方。

● 新規加入を随時受け付けております ●

更埴支所 技能職員

高橋 裕二



10月1日付で更埴支所の黄昏班に配属となりました高橋裕二と申します。更埴支所には

平成31年までの約7年間お世話になっており、4年間の離れていた期間を経て森林組合への復職を果たしました。一度退職した経験から、組合の価値と使命を客観的に見つめ直す機会となりました。また、安全な作業がいかに大事か再認識し、安全な環境づくりやリスク管理に一層の意識を持ち、安全第一の原則を徹底して実践していきたいと思っております。

人事異動

◆退職 令和5年5月10日付

○一般職員 春日 賢一

◆退職 令和5年5月31日付

○技能職員 田辺 慶太郎

◆採用 令和5年7月12日付

○臨時職員 木下 恵美子

◆採用 令和5年8月1日付

○技能職員 中川 卓真

◆異動 令和5年8月1日付

○技能職員 伊藤 啓太

・長野支所 松本 文明 (西山支所)

◆退職 令和5年9月29日付

○一般職員 更埴支所 技師 佐枝藤 奨大

◆採用 令和5年10月1日付

○技能職員 更埴支所 高橋 裕二

◆異動 令和5年10月1日付

○一般職員 倉石 梓 (森林づくり推進課)

・森林づくり推進課兼更埴支所 技師

編集後記

◇当組合は持続可能な社会を目指し健全な森林を維持するために、子供たちの未来のために、引き続き地域の森林づくりを進めてまいります。また、様々な情報発信に今後も努めてまいります。